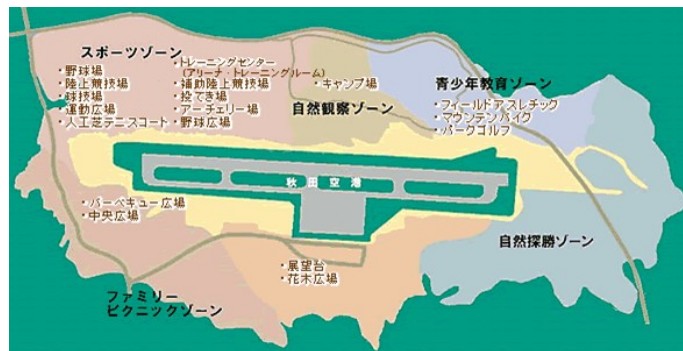


9) 秋田県立中央公園（所在地：秋田市雄和椿川字駒坂台 4-1）

秋田市の南東に位置し、秋田空港を取り囲むように造られた 583.8ha の公園で、広域的なレクリエーション、スポーツ、教育、散策、休養の場となっている。

その中のスポーツゾーンには、陸上競技場、補助競技場、投てき場、野球場、野球広場、アーチェリー場、人工芝テニスコート、球技場、運動広場、トレーニングセンター、屋根付グラウンド等が整備されている。

このゾーンの面積は示されていないが、道路や駐車場、修景緑地を除く各施設の面積を合計すると約 20.4ha となっている。



◆陸上競技場（第1種公認）

敷地面積 3.6ha、全天候型 400mトラックが 9 レーン、メインスタンドには 7,000 人、芝生スタンドには 15,000 人、合計 22,000 人が観戦できる。



◆補助競技場（第3種公認）

敷地面積約 1.9ha、400mトラックが 8 レーン、100m が 10 レーン整備されている。



◆投てき場（第3種公認）

敷地面積約 0.9ha、砲丸投 1 面（練習場 4 面）、やり投 2 面、ハンマー投・円盤投 2 面が整備されている。



◆野球場

敷地面積約 1.7ha、両翼 92m、中堅 122m、ベンチスタジアムには 2,250 人、芝生スタンドには 2,750 人、合計 5,000 人が観戦できる。



◆野球広場

施設面積約 0.9ha、両翼 85m、中堅 105m のグラウンドが整備されている。



◆アーチェリー場

施設面積約 0.6ha、30m・50m・70m・90m 級の 8 コースが整備されている。



◆テニスコート

敷地面積約 2.4ha の中に、総面積 1.8ha の砂入り人工芝テニスコート 20 面があり、メインスタンド 2,400 人、芝生スタンド 3,800 人、合計 6,200 人が観戦できる。



◆球技場

敷地面積約 3.6ha で、メインスタンド 1,700 人、サブスタンド 2,000 人、芝生スタンド 12,800 人、合計 16,500 人が観戦できる。



◆運動広場

敷地面積約 3.2ha の中に 5,500 人収容の芝生スタンドが整備され、サッカー、ラグビー、ソフトボール用のコートが 4 面整備されている。



◆トレーニングセンター及び屋根付グラウンド（スカイドーム）

写真左のトレーニングセンターは、トレーニングルームを備えた建築面積約 0.4ha のアリーナ棟と建築面積約 0.14ha の宿泊棟があり、200 人が宿泊することができる。

写真中央及び右は、屋根付きグラウンドで建築面積約 1.2ha のドームは鋼管骨組膜構造となっていて、内部は野球、サッカー、ゲートボール、200mトラックの競技等に利用できる。



10) 筑後広域公園（所在地：福岡県筑後市大字津島 831-1）

船小屋中の島公園を中心に東西約 4km の県営「筑後広域公園」の総面積は、完成すると 192.6ha（筑後市側＝119.5ha、みやま市側＝73.1ha）で県内で最も広い県営公園となる。

公園西側に位置する「スポーツゾーン」は、4つのエリアから構成され「多目的スポーツエリア」「屋内スポーツエリア」「軽スポーツエリア」の3つのエリア（21.8ha）は既に供用開始され、1.8haの多目的運動場、6面のテニスコート、3.6haの多目的広場、屋内体育館、無料のゲートボール場が整備されている。



体育館



テニスコート



自然公園



多目的運動場



多自然型水路

【 整備事例における施設規模等の整理 】

◆主なスポーツ施設

NO.	公園名	面積 (ha)	主 要 な 施 設 名								
			陸上競技場	競技場スタンド	補助競技場	野球場	ソフトボール場	サッカー場	テニスコート	投てき練習場	その他
1	福岡市西部運動公園	約11.0	—	—	—	両翼90m、中堅115m	多目的球場1.52ha スタンド0.37ha	—	人工芝コート10面 壁打ちコート1面	—	—
2	長崎県立総合運動公園	32.0	第1種公認400m 8レーン、約3.5ha	メイン8,270席 バック7,149席	1周300mと350m 直線走路120m	野球広場4面 外野芝生約2.1ha	外野芝生約0.4ha	ラグビー兼用 クレー約1.0ha	人工芝コート8面 約0.7ha	○	ローンボウルズ場 わいわいプール
3	小林総合運動公園	— (*)	第3種公認400m 8レーン、約2.3ha	3,300席	—	両翼99m、中堅122m 約1.7ha、5,000席	—	—	人工芝コート8面 約1.0ha	○	屋内・屋外プール 屋内約0.23ha
4	高槻市総合運動公園	約35.0	第3種公認400m 6レーン、約2.6ha	メイン約1,500席 バック約1,500席	—	両翼98m、中堅122m 約1.4ha、1,330席	—	ラグビー兼用 天然芝	—	—	—
5	ふれあい坂田池公園	21.0	第3種公認400m 8レーン	メイン80席 バック750席	—	両翼95m、中堅120m 1,430席	—	陸上競技場内のフィ ールド兼用	人工芝コート6面 芝生550席	—	ゲートボール場 人工芝4面
6	東北電力 名取スポーツパーク	—	第3種公認400m 8レーン	メイン約1,323席 バック約9,000席	112m×135m 軟式野球等に対応	両翼98m、中堅122m 8,807席	—	—	人工芝12面 スタンド1,000席	—	フットボール場 フットサル場
7	青森県総合運動公園	—	第1種公認400m 8レーン	メイン6,500席 バック10,500席	第3種公認並 6レーン	両翼93m、中堅120m 21,016席	—	—	—	—	公認屋外プール 徒渉プール
8	岩手県営運動公園	約24.4	400m8レーン 約2.6ha	メイン6,000席 バック24,000席	1周300m、直走路130 mの6レーン	両翼90m、中堅93m 軟式野球、約1.3ha	—	ラグビー兼用 コート160m×90m	人工芝8面 スタンド1,000席	—	—
9	秋田県立中央公園	— (*)	第1種公認400m 9レーン、3.6ha	メイン7,000席 バック15,000席	第3種公認400m 8レーン、約1.9ha	両翼92m、中堅122m 約1.7ha、5000席	両翼85m、中堅105m 野球広場約0.9ha	球技場約3.6ha 16,500席	人工芝20面 約2.4ha、6,200席	砲丸投等 約0.9ha	アーチェリー場 運動広場、ドーム
10	筑後広域公園 (21.8ha供用開始)	192.6 (完成)	—	—	—	—	多目的運動場 約1.8ha	—	6面	—	体育館 ゲートボール場

注：面積欄の(*)印はスポーツ施設の面積が示されているケース。

◆主な休息、観賞、散歩、遊戯等の施設

NO.	公園名	面積 (ha)	主 要 な 施 設 名							
			芝生広場	多目的広場	ジョギングコース	児童の遊び場	植物の観賞・学習広場	その他の広場	駐車場	
1	福岡市西部運動公園	約11.0	○	—	1周コース 1.1km、2.1km	児童公園	—	ドッグラン 15m×71m 一般犬、小型犬フィールド 1,045㎡	160台	
2	長崎県立総合運動公園	32.0	○	—	1周コース500m	ちびっこ広場	花園広場、教材園	ローラースケート場、バスケットコート	○	
3	小林総合運動公園	— (*)	中央広場 約0.9ha	芝生広場 約0.9ha	○	冒険の森 アスレチック遊具	—	展望広場(多目的広場としても利用) 約1.2ha	○	
4	高槻市総合運動公園	約35.0	○	○	—	わんぱく広場	体験の森、観察の森 梢の森	チョウの里	○	
5	ふれあい坂田池公園	21.0	やすらぎ広場	運動広場	池周遊コース	子供の広場	湿性植物園	広場中央の坂田池	○	
6	東北電力 名取スポーツパーク	—	—	—	—	—	—	—	○	
7	青森県総合運動公園	—	三角広場	—	—	遊技広場	—	展望広場	1,547台	
8	岩手県営運動公園	約24.4	○	○	ヘルスコース600m 1,000m、2,000m	児童公園0.3ha	—	交通公園約1.8ha、日本庭園約1.7ha 登はん競技場約0.3ha	約2.1ha 4箇所整備計568台	
9	秋田県立中央公園	— (*)	空港周辺における自然観察ゾーン、青少年教育ゾーン、ファミリーピクニックゾーン、自然探勝ゾーンに整備							○
10	筑後広域公園	192.6	—	芝生広場 約3.6ha	—	—	矢部川沿い自然公園	園内の多自然型水路	○	

2-5 地元要望事項の把握

総合運動公園の基本構想を検討するに当たって、柳川市の屋外スポーツに関する要望について、スポーツクラブ及び同好会の役員や代表者等を対象に、下記項目についてアンケート調査を実施した。

調査結果として 28 団体から回答が得られ、調査対象団体の状況や意向等を以下に整理する。

調査項目	
(1) 調査対象団体の状況	1) スポーツクラブ・同好会の種類
	2) 活動しているスポーツ種目名（複数回答可）
	3) クラブ・同好会の概略人数（複数回答可）
	4) スポーツ活動の回数
	5) 現在、使用している主な市の施設名（複数回答可）
	6) 市の施設への満足感
(2) 現在、活動する上での悩み等（施設の規模や数、利用面等について）（複数回答可）	
(3) 今後、整備を望みたいスポーツ広場（施設種類、規模、位置等について）（複数回答可）	
(4) 今後、参加したいスポーツ種目（イベント、教室等について）（複数回答可）	
(5) その他の自由意見（複数回答可）	

(1) 調査対象者の状況

1) スポーツクラブ・同好会の種類

「市内にある地域のクラブ・同好会」が 15 団体（53.6%）で最も多く、次いで「学校のクラブ・同好会」が 7 団体（25.0%）となっている。

項目	団体数	%
市内にある地域のクラブ・同好会	15	53.6
市外にあるクラブ・同好会	1	3.6
職場のクラブ・同好会	0	0.0
民間の会員制クラブ・同好会	0	0.0
学校のクラブ・同好会	7	25.0
その他	4	14.3
不明	1	3.6
合計	28	100.0

注) 複数回答は「その他」、無記入は「不明」に分類した。

2) 活動しているスポーツ種目名

28 団体の回答者が活動しているスポーツ種目は、下表のとおりである。

複数回答

種 目 名	
ペタンク	ゲートボール
グランドゴルフ	フットサル
サッカー	軟式テニス
ソフトボール	軟式野球
硬式テニス	硬式野球
陸上競技	体力測定

3) クラブ・同好会の概略人数

「50 人未満」が 12 団体（42.9%）で最も多く、次いで「100 人～200 人未満」が 9 団体（32.1%）、「500 人以上」が 3 団体（10.7%）となっている。

複数回答

項 目	団体数	%
50 人未満	12	42.9
50 人～100 人未満	1	3.6
100 人～200 人未満	9	32.1
200 人～300 人未満	1	3.6
300 人～500 人未満	1	3.6
500 人以上	3	10.7
不明	1	3.6
合計	28	100.0

注) 複数の所属クラブがある場合は人数を合計した。

4) スポーツ活動の回数

「ほぼ毎日」が 11 団体（39.3%）で最も多く、次いで「週に 3 回以上」が 5 団体（17.9%）となっており、半数以上が週に 3 回以上のスポーツ活動を行っている。

項 目	団体数	%
ほぼ毎日	11	39.3
週に 1～2 回	3	10.7
週に 3 回以上	5	17.9
月に 1～3 回	3	10.7
3 ヶ月に 1～3 回	2	7.1
年に 1～3 回	0	0.0
不明	4	14.3
合計	28	100.0

注) 複数回答は不明とした。

5) 現在、使用している主な市の施設名

28 団体の回答者が使用している主な市の施設は、下表のとおりである。

複数回答

施設名	団体数	施設名	団体数
柳川市民大和グラウンド	8	城内小学校グラウンド	1
柳川市民三橋グラウンド	7	西新ゲートボール場	1
有明地域観光物産公園	6	大牟田市御大典記念グラウンド	1
むつごろうランド野球場	4	大和ゲートボール場	1
宮上農村公園	3	大和テニスコート	1
柳川市民グラウンド	4	筑後広域公園のテニスコート	1
柳川市民三橋テニスコート	2	筑後川総合運動公園グラウンド（大川市）	1
竜神宮境内	2	中央公園グラウンド（大川市）	1
両開有明まほろばグラウンド	2	伝習館高校グラウンド	1
各中学校グラウンド	1	東宮永小学校グラウンド	1
学校内のテニスコート	1	藤吉小学校グラウンド	1
蒲池小学校グラウンド	1	白秋詩碑苑	1
久留米スポーツセンター陸上競技場	1	行政区公民館広場	1
三橋町トレーニング施設	1	保健医療経営大学グラウンド（みやま市）	1
市内一般道路	1	立石グラウンド	1
セツ家グラウンド	1	特になし	2
小郡市陸上競技場	1	不明	2
		合計	65

6) 市の施設への満足感

「やや不満」や「大いに不満」は合計 12 団体（42.8%）、「満足」や「まあまあ満足」は合計 7 団体（25.0%）で、市の施設に対する満足度は低い状況となっている。

項目	団体数	%
満足	2	7.1
まあまあ満足	5	17.9
普通	5	17.9
やや不満	6	21.4
大いに不満	6	21.4
どちらとも言えない	0	0.0
不明	4	14.3
合計	28	100.0

注) 複数回答は不明とした。

(2) 現在、活動する上での悩み等（施設の規模や数、利用面等）

41 項目の複数回答があり、それぞれの回答を大きく分類すると「施設」に関する意向が 12 項目、「規模」が 12 項目、「整備状況」が 3 項目、「利用状況」が 12 項目、「維持官営」が 2 項目となっている。主な回答の内容は、次のとおりである。

- ・施設：各グラウンドの付帯施設の不足や整備に関する問題と要望等
- ・規模：グラウンド、テニスコート、陸上競技場、サッカーコート、駐車場に対する問題等
- ・整備状況：グラウンド整備の問題
- ・利用状況：競技場の整備不足等から発生する利用面の問題等
- ・維持管理：市民グラウンドの整備、陸上競技大会における準備に関わる維持管理の問題等

複数回答

分類	意見の概要
施設	大和グラウンドの外野にフェンスがなく、側溝が1段下がっていて危険である。
	大和グラウンドは照明灯が暗く、外野手はボールが見えにくい。
	両開有明まほろばグラウンドにはトイレがない。
	大和テニスコート上のマンホールは危険である。
	テニスボール等の保管場所の確保。
	三橋テニスコートのネットの修理。
	小学校体育館の利用によるフットサル利用は禁止されているため、練習や試合ができなくて困っており、使用できる屋内施設の整備を望む。
	グラウンド整備用具が不足している。
	ナイター設備がある所とない所がある。
	むつごろうランド野球場のトイレの早期設置。
	既設の屋内施設はフットサル利用は禁止されており、練習や試合ができなくて困っている。フットサルの人気は年々高まっており、子供から女子、ファミリーまで幅広い年代でプレーができ競技人口も増えている。既設の体育館の壁の前に防護ネットを張るなどすれば安い費用でできる。
規模	タータン（全天候型陸上競技場のトラック部のポリウレタンゴム）での練習ができないため、走幅跳、走高跳、ハードル、リレー、槍投等の種目で足あわせができない。
	グラウンドが狭い。
	グラウンドの外野が狭い。
	行政区公民館広場は狭いので、宮上農村公園や有明地域観光物産公園を利用している。
	宮上農村公園は、ほとんど毎日何かのクラブが利用しているが、グラウンドゴルフを行うには狭すぎるので拡大を希望する。
	三橋テニスコートは現在3面コートがあるが、4面あれば各種大会も開催できて利用が活発になる。
	年3回の体育協会主催のグラウンドゴルフ大会を行っているが、駐車場に問題がある。例えば、柳川市民グラウンドは駐車場が狭く、南筑後地区参加者が500人以上の時は困る。
	陸上競技の公認競技ができないし誘致できない。
	陸上競技の100m直線コースがとれない。
	駐車場が狭い。
	硬式野球専用の練習グラウンドがあるが、狭いため練習試合や準公式試合が実施できない。年間70試合程度の試合を行うが、全て遠征のために交通費の出費がかさむ。全校生徒が応援に参加し愛校心を高めることや、学校活性化を目的にするような対抗試合等の申し入れがあるが、開催するグラウンドがない。
現在の学校の簡易のテニスコートを含め2面（男女で4面）使用できるが、来年3月からは1面になることや、コートサーフィスが良くなく練習に支障をきたしている。	
大会等で使用できる規模のサッカーコート（105m×68m）がない。	

複数回答

分類	意見の概要
整備状況	サッカー部が雨上がりに使用するとグラウンドに凹凸ができる。
	大和グラウンドや三橋グラウンドの水吐けが悪い。
	雨上がりのグラウンドコンディションが悪い。
利用状況	三橋グラウンドは夏に水田の影響で使用できない時期がある。
	グラウンドの予約等で計画的な活動がしにくい。
	ペタンク市大会等の場所の確保が難しい。(他の大会と重複する時がある)
	有明地域観光物産公園や市民グラウンドの利用者が多い。
	私達の行政区では練習場がない。
	全天候の陸上競技場が近くにないため、試合前は大牟田市や久留米市の有料競技場を利用している。
	雨天時の陸上競技のブロック大会は、1万円程度を払って大牟田の施設を借りている。
	ソフトテニスのコートが3面で、ばらばらの場所にあるため大会が開けずに、伝習館高校のコートを借りている。
	県大会等の大きな大会を開催できる広い野球場がなく、県協会の行事日程等で肩身が狭い。
維持管理	ソフトボールの中学校の部活動は各中学校のグラウンドを使用しているが、学校によっては複数の部活動の場所が重なり、十分な活動ができない状況もある。
	ソフトボールの練習試合等を行う際も部活間で調整が必要になっている。
	陸上競技の小学生記録会が多会場にわたっている。
維持管理	市民グラウンドは、柳川高校サッカー部が使用しているために整備が大変である。
	陸上競技の競技会のたびにライン引き、寸法測定等準備に手間がかかる。

(3) 今後、整備を望みたいスポーツ広場（施設種類、規模、位置等）

39 項目の複数回答があり、大きく分類すると「施設」が 6 項目、「グラウンド等」が 13 項目、「総合運動公園」が 20 項目となっている。主な回答の内容は次のとおりである。

- ・施設：観客席、サッカーゴール、グラウンドゴルフ用具庫、照明使用料等
- ・グラウンド等：グラウンド、ペタンク施設、テニス場、多目的広場、野球場、グラウンドゴルフ場、サッカー場等ができる広場の要望等
- ・総合運動公園：配置は市の中心部、昭代付近、両開地区、柳川駅付近、橋本地区
 - ：広場はグラウンドゴルフコース約 15 コース、外周散策道、全天候型 8 レーンの陸上施設と観客席・フィールド、1km のランニングコース、ソフトボール場、補助グラウンド、テニス場、サッカー場及びフィールド内の 105m×68m のサッカー場、体育館、弓道場、相撲場、プール、硬式野球の公式戦対応の野球場等
 - ：施設はタータン舗装のトラック、芝生フィールド、屋根のある観覧席等

複数回答

分類	意見の概要
施設	観客席の整備を希望。
	周囲に迷惑をかけず安心して利用できる施設。
	2月～11月まで長期間の活動となるので優先的に利用できる施設の整備。
	サッカーゴールの整備（少年用4組、一般用2組）
	いつでもペタンク、グラウンドゴルフができるような用具場所の整備。
	照明使用料を安く。
グラウンド等	天然芝のグラウンドは魅力的。
	雨天時にも利用できるゲートボール場の整備。
	水吐けが良く正規の広さのグラウンドの整備。
	グラウンドの整備。
	ペタンク施設のあるグラウンドの整備。
	交通の便の良い所に、最低4面、できれば8面のテニスコートが欲しい。
	多目的広場を中学校グラウンドと隣接し、同時使用ができる程の駐車場のある広い広場の整備。
	野球が2面以上できるような施設の整備。
	大型バスが通行できるように整備したむつごろうグラウンド野球場の拡張。
	グラウンドゴルフの会員増につなげるため、3コース以上のコース整備と駐車場が広く確保できること。
	サッカーができる芝生の多目的グラウンドの整備。
	サッカーやラグビーができる芝生の多目的グラウンドの整備。既存のグラウンドは狭く、さらにマウンドやプレートが埋め込まれておりサッカーには適しない。グラウンドの広さは、少年用ピッチサイズで4面、大人用ピッチサイズで2面とれる215m×130mで、芝生は比較的安価で管理も自分たちで行えるピポット芝を希望。
	市のテニスコートは3面でクレーであるが、現在各地のコートがオムニコートになってきているので、柳川市もクレーからオムニコートへの改修を希望。

複数回答

分類	意見の概要
総合運動公園	大会等の関係で市内の中心部に近いところに整備を希望。
	総合運動公園の整備。
	昭代付近における総合運動公園の整備。
	グラウンドゴルフコース約 15 ホールある総合運動公園の整備。
	外周に散策道がある総合運動公園の整備。
	両開地区における総合運動公園の整備。
	全天候 8 レーンの陸上施設で、観客席、フィールドの幅跳び、高跳び、砲丸投げの施設整備。(市の無料施設)
	最低 1km のランニングコースのある陸上競技場の整備。
	総合運動公園は、各中学校からの距離に極端な差が出ないよう市の中心部が望ましい。
	現在の柳川市のソフトボール部は 3 校だけで、年々生徒の減少もあり、今後は行動部活動を視野に入れなければならないことから、総合運動公園はそのような場合の活動場所に見える位置が望ましい。
	総合運動公園陸上競技場の整備。
	補助グラウンドを含む陸上競技場、野球場、テニスコート、サッカー場、体育館、弓道場、相撲場、プール等を備えた施設の整備。
	総合運動公園は、西鉄柳川駅を降りた中体連、高体連の生徒が肩から重いバッグを下げ、徒歩で 10～15 分で着く場所に施設を配置。柳川警察署の裏方面であれば大和町の雲龍相撲場を視野に入れることができる。
	橋本地区における総合運動公園の整備。約 5 町歩から市有地に、後 10 町歩足らずを購入しているので併設だけで安上がり。
	400m タータンの陸上競技場の整備。
	両チームが 1000 人程度で応援できる硬式野球の公式戦ができる野球場の整備。
	野球場の位置は、柳川駅を利用できる(徒歩等)程度の場所が望ましい。
	サッカーの試合が可能な球技場の整備又は、陸上競技場のフィールドで試合が可能なコート(105m×68m)の整備。
陸上競技場のフィールドの芝生の整備。	
陸上競技場のメインスタンドの広い屋根の整備。	

(4) 今後、参加したいスポーツ種目（イベント、教室等）

16項目の複数回答があり、大きく分類すると「スポーツ」が7項目、「教室・記録会等」が7項目、「イベント」が2項目となっている。主な回答の内容は、次のとおりである。

- ・スポーツ：グラウンドゴルフ、ロードレース、駅伝大会、ソフトボール、野球、サッカー、フットサル大会等
- ・教室・記録会等：老人クラブ（全国）推進種目、キッズサッカー教室、陸上の記録会・教室、プロスポーツ選手を招く大会や教室
- ・イベント：キッズサッカーフェスティバル、プロ野球のオープン戦

複数回答

分類	意見の概要
スポーツ	グラウンドゴルフ（3団体）
	市内ロードレースや駅伝大会等
	ソフトボール
	野球
	柳川市主催のサッカー、フットサル大会（以前は市内で開催）
教室・記録会等	体力測定や走行会等の老人クラブ（全国）推進の種目
	キッズ（園児、小学生1～2年生）のサッカー教室（以前は市内で開催）
	体協が中心になって進める陸上記録会
	一流選手をゲストに招くイベント的な陸上教室
	プロ選手が指導する少年サッカー教室
	陸上競技会
	プロ野球選手やOB選手等の野球教室
イベント	キッズ（園児）サッカーフェスティバル
	開催して欲しいイベントは、プロ野球のオープン戦（2軍レベルでも可）

(5) その他の自由意見

29 項目の複数回答があり、大きく分類すると「配置要望」が 2 項目、「広場要望」が 3 項目、「既存施設要望」が 6 項目、「活動要望」が 8 項目、「意識・感想」が 10 項目となっている。主な回答の内容は、次のとおりである。

- ・配置要望：総合運動公園の配置は干拓地、競艇学校付近
- ・広場要望：広場は全天候型グラウンド、テニスコート、ソフトボール場
- ・既存施設要望：既存施設は竜神宮境内のトイレ、三橋テニスコートの施設、照明料等の減免
- ・活動要望：総合運動公園の方向性、テニス交流、マナー教育、指導者の育成、用地の確保、少年サッカーへの補助金、早期整備等
- ・意識・感想：大会参加の感想、整備への不満、選手流出の危惧、将来への活動意識、野球場の現状と整備の意義等

複数回答

分類	意見の概要
配置要望	干拓地は塩害等で栽培に向かなく、土地が安く広大な敷地が確保できる。
	想定以上の利用者でも対応できるように、競艇学校付近はベストである。（駐車スペースの確保）
広場要望	ぜひ柳川市に陸上の大会や休日等に使用できる全天候のグラウンドを整備して欲しい。
	来年は伝習館高校のテニスコートが 4 面になるので、今まで開催していた大会ができなくなるのではと心配している。
	可能性は低いですが、ソフトボールの筑後地区大会を開催すると 4 面必要となる。
既存施設要望	竜神宮境内にトイレが欲しい。
	三橋テニスコートの中学生と社会人は、別のコートにすべきである。
	三橋テニスコートのコートと受付は近い方が良い。
	三橋テニスコートの受付の手続きを、チケット制にして簡単にして欲しい。
	三橋テニスコートの壁打ちをテニスコートにして欲しい。
	体協野球部として、みやま市との交流で地域活性化に努めているが、予算が足らず、照明料等の減免の拡大を要望したい。

複数回答

分類	意見の概要
活動要望	総合運動公園の方向性を示して欲しい。
	久留米市と大牟田市の中間都市として、中核となる総合運動公園の整備。
	小学生や中学生等の学生とのテニス交流をして欲しい。
	各スポーツのマナー教育をして欲しい。
	地域に根ざしたスポーツクラブ組織の充実と指導者の育成をして欲しい。
	莫大な費用を要するため反対論者が出ることは必至だが、だからといって安易に妥協し従来型の多目的広場になってはならない。中長期的な視野に立って、まず「用地の確保」に重点を置いて欲しい。既存の運動場等は公用地として保存し、多目的広場や祭りの駐車場等に活用する。
	ソフトボールや柔道、剣道等の少年スポーツは、市主催や後援（補助金）の大会が開催されるのに対してサッカーにはない。運営は自分達で行うので5万円程の補助金で構わないので、柳川市少年サッカー大会等の名称で大会を希望したい。
	老人クラブ同の今後の健康のため、早期に総合運動公園を整備して欲しい。
意識・感想	老人クラブのペタンク大会に年3~4回参加し、競技で多数の人と接することにより心身ともに元気が出るような気がする。
	柳川市の運動広場を近隣自治体と比較すると貧弱であり、近隣主催大会に参加するごとに不満に思い続けた。
	柳川市のチームが、大川市、久留米市、佐賀が主催する大会に流出している。
	将来は「柳川市陸上競技協会」を立上げ、競技場の維持管理から指導運営まで任される団体にしたい。
	総合運動公園では、過去に行われていた柳川市総合市民体育大会を主会場として復活したい。（例：久留米オリンピック）
	指導面においてペタンクの普及に尽力したい。
	大牟田市や久留米市には競技場があるが、柳川市にないことが残念である。
	柳川陸上クラブ等の全国大会級のクラブがあるのもったいないし、活動場所があれば陸上競技人口ももっと増え、子供から一般に至るまで陸上が盛んになる。
	現在、高校野球の夏の選手権大会予選や春秋の九州大会予選等の公式戦が開催できる野球場は5箇所（春日、桧原、久留米、小郡、大牟田）であるが、球場の確保が難しく、日程が選手達にとって大変厳しいものとなっている。
	野球場が整備されれば、高校野球以上の野球を観戦する機会が増加し、子供達がスポーツに親しむ環境ができ、また、観戦に訪れる他地域の人々が柳川に来ることにより観光の機会増加にも役立つ。

3. 分析評価及び方針設定

3-1 問題点・課題の整理

これまで整理してきた現況把握を踏まえ、構想案の配置や構想内容を検討するため、整理された事項について再度検討事項及び問題点・課題を抽出し、構想を図るための留意事項を整理する。

検討事項の抽出 (1/2)

大分類	中分類	小分類	検 討 事 項
計画対象地の状況	自然的条件	位置	1. 市南西部は有明海に隣接
		地形	2. 高低差のない平坦地
			3. 網目状に広がる大小の水路
	社会的条件	土地利用	4. 市域面積の過半数の農業用地
		交通網	5. 整備された道路網
			6. 西鉄天神大牟田線の6つの駅
		都市計画	7. 人口は用途地域内に集中
	公園・景観	8. 街区・近隣等の住区基幹公園が主体	
		9. 法的拘束力のない景観条例	
上位・関連計画	都市公園法施行令		10. 総合運動公園は、都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯及び運動の用に供する公園
	国土交通省の「公園とみどり」		11. 温暖化の緩和、防災機能、市民の諸活動の場等
	景観法		12. 推進が望まれる景観計画の策定
	第1次柳川市総合計画		13. 市内5地域のまちづくりの方向性、既存の体育施設とのネットワークに配慮
	柳川市都市計画マスタープラン		14. 地域別構想の20年後の都市づくり方針に配慮
	柳川市観光振興計画		15. 市の観光資源の立地状況等に配慮した配置
柳川市の主要体育施設の利用状況	柳川市地域防災計画及び防災マップ		16. 市の防災計画に貢献できるような適正な配置
	全施設の利用状況		17. 施設利用回数は1人当たり年間に5.5回
柳川市の主要体育施設の利用状況	主要グラウンド利用状況		18. グラウンド利用回数は1人当たり年間に1.2回
	総合運動公園に関する調査	福岡県の整備状況	
総合運動公園の整備事例		スポーツ施設	20. 整備されている主要なスポーツ施設 ・第3種公認陸上競技場（400mトラックが9レーン程度、各種競技用のフィールド、スタンド） ・補助競技場（1周300mの6レーン程度） ・野球場（両翼90m以上、中堅120m程度、スタンド） ・サッカー場（ラグビー兼用） ・テニスコート（人工芝6~8面程度、スタンド）

検討事項の抽出 (2/2)

大分類	中分類	小分類	検討事項
総合運動公園に関する調査	総合運動公園の整備事例	レクリエーション施設	21. 整備されている主要な休息・観賞・遊戯等の施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生広場（中央広場、やすらぎ広場等） ・ 多目的広場（芝生広場） ・ ジョギングコース（1周 500m～2,000m） ・ 児童の遊び場 ・ 植物の観賞・学習広場 ・ その他の広場（展望広場、ドッグラン等の地区特性及び利用者ニーズに対応した施設） ・ 駐車場
		筑後広域公園	22. 整備されているスポーツ施設との競合性に配慮
地元要望事項の把握			23. 市の施設への満足感 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の施設に対する満足度は低い
			24. 現在、活動する上での悩み等（主要項目） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グラウンドの付帯施設の不足等 ・ 既存施設の規模等 ・ 競技場の整備不足等から発生する利用面の問題等
			25. 今後、整備を望みたいスポーツ広場（主要項目） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツができるグラウンド等の整備 ・ 総合運動公園の配置、広場、施設に関する要望等
			26. 今後、参加したいスポーツ種目（主要項目） <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドゴルフの要望が多い ・ 子供から高齢者まで参加できる各種の教室や記録会の開催 ・ プロのスポーツ選手による教室やイベントの開催
			27. その他の自由意見（主要項目） <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合運動公園の配置、広場に関する要望等 ・ 既存施設の整備に関する要望等 ・ 交流、マナー教育、指導者の育成等の活動要望等 ・ 各種スポーツに関する意識や感想等

【 問題点・課題及び留意事項の整理 】

大分類	検討事項	問題点・課題	構想を図るための留意事項	項目分類
計画対象地の状況	1. 市南西部は有明海に隣接	・海岸沿いは潮風による塩害、強風による風害、競技の障害が起こる。	・海岸沿いはできるだけ配置しない。また、植物や競技に影響する塩害・風害に配慮する。	配置計画
	2. 高低差のない平坦地	・浸水に関する防災を除くと造成に関する優劣はない。	・配置については洪水の浸水範囲のレベル状況に配慮する。	〃
	3. 網目状に広がる大小の水路	・河川としての機能を持つ水路は遮断できない。	・河川機能を持つ水路は遮断せず、地域特性を演出する水辺の活用を図る。	〃
	4. 市域面積の過半数の農業用地	・地区によって農地の中に集落地が分散している。	・できる限り集落地の移転を避け、周辺のインフラ整備状況にも配慮する。	〃
	5. 整備された道路網	・既設道路や計画道路、鉄道を考慮して配置する。	・広域幹線道路や生活道路との近接性や市街地からの距離に配慮する。	〃
	6. 西鉄天神大牟田線の6つの駅	・広域からの利用者に配慮し、西鉄天神大牟田線の駅付近の配置も検討できる。	・広域利用者の利便性に配慮し、鉄道駅付近の配置も検討する。	〃
	7. 人口は用途地域内に集中	・住宅や施設が密集して用地が少ないことや用地買収費が高額になる。	・住宅密集地域には配置しない。	〃
	8. 街区・近隣等の住区基幹公園が主体	・面積やスポーツ・レクリエーション機能のある都市基幹公園が必要である。	・公園が道路等で分断されないように広さを活かした一体的整備を図る。	整備内容
	9. 法的拘束力のない景観条例	・公園整備における景観形成の規制がない。	・望まれる景観条例の制定。	今後の課題
上位・関連計画	10. 総合運動公園は、都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯及び運動の用に供する公園	・あらゆる年齢層の人々や各種障害のある人々が、安全で快適にスポーツやレクリエーションを楽しむことができるように整備する。	・利便性の高い施設整備や、都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン及びユニバーサルデザインに配慮した施設整備を図る。	整備方針
	11. 温暖化の緩和、防災機能、市民の諸活動の場等	・公園の持つ機能に配慮する。	・緑のオープンスペース、震災時の避難地、レクリエーションの場の創造。	〃
	12. 推進が望まれる景観計画の策定	・公園整備においては景観の変化が起こる。	・望まれる景観計画の策定。	今後の課題
	13. 市内5地域のまちづくりの方向性、既存の体育施設とのネットワークに配慮	・市の基本構想・基本計画に配慮する。	・まちづくりの方向性や周辺地域のスポーツ施設との近接性・競合性に配慮する。	配置計画
	14. 地域別構想の20年後の都市づくり方針に配慮	・6地域の地域づくり構想に配慮する。	・地域の都市づくり方針図との整合を図る。	〃
	15. 市の観光資源の立地状況等に配慮した配置	・観光資源は保全する。	・観光資源の立地箇所には配置しない。	〃
柳川市の主要体育施設の利用状況	16. 市の防災計画に貢献できるような適正な配置	・市街地周辺の避難場所としても機能させる。	・市街地との近接性や避難場所指定地区との連携に配慮する。	〃
	17. 施設利用回数は1人当たり年間に5.5回	・点在する体育施設とのネットワークに配慮する。	・計画地周辺のスポーツ施設や公園等との連携に配慮する。	〃
総合運動公園に関する調査	18. グラウンド利用回数は1人当たり年間に1.2回	・グラウンド利用者が多い。	・グラウンドの規模と施設内容を検討する。	導入施設
	19. 1か所当たりの公園面積約20.0haで、県の整備及び施設整備は全国水準並	・面積的には県平均の広さを確保することが望ましいが、事業費の面からの検討も必要となる。	・利用可能な用地や事業費によるが、構想段階の面積は6.0ha～10.0haを目途とする。	整備規模
	20. 整備されている主要なスポーツ施設 ・第3種公認陸上競技場（400mの9レーン程度、各種競技用のフィールド、スタンド） ・補助競技場（1周300mの6レーン程度） ・野球場（両翼90m以上、中堅120m程度、スタンド） ・サッカー場（ラグビー兼用） ・テニスコート（人工芝6～8面程度、スタンド）	以下のスポーツ施設の導入を検討する。 ・第3種公認陸上競技場（サッカー場兼用） ・補助競技場 ・野球場 ・テニスコート ・多目的広場	・地形条件や用地取得費等の事業費を検討し、左記の施設の中から利用に応じた施設を選定して規模や整備内容を検討する。	導入施設
	21. 整備されている主要な休息・観賞・遊戯等の施設 ・芝生広場（中央広場、やすらぎ広場等） ・多目的広場（芝生広場） ・ジョギングコース（1周500m～2,000m） ・児童の遊び場 ・植物の観賞・学習広場 ・地区特性及び利用者ニーズに対応した施設 ・駐車場	以下の休息・観賞・遊戯等の施設の導入を検討する。 ・芝生広場 ・ジョギングコース ・児童の遊び場 ・植物の観賞・学習広場 ・地区特性及び利用者ニーズに対応した植樹 ・駐車場		
22. 整備されている筑後広域公園のスポーツ施設との競合性に配慮	・本公園との近接性、施設の整備内容に配慮した検討が必要である。	・スポーツ施設の近接性や競合性を考慮して配置する。	配置計画	
地元要望事項の把握	23. 市の施設への満足感	・市の施設に対する満足度は低い	・利用者が満足できるような施設整備に配慮する。	施設整備
	24. 現在、活動する上での悩み等	・グラウンドの付帯施設や規模の不足、整備不足等から発生する利用面の問題等	・既設の各グラウンドの施設や利用状況について個別意見に配慮する。	〃
	25. 今後、整備を望みたいスポーツ広場	・グラウンド整備や総合運動公園の配置、広場、施設に関する要望等	・総合運動公園における要望事項として配慮する。	〃
	26. 今後、参加したいスポーツ種目	・子供から高齢者まで参加できる各種の教室や記録会の開催 ・プロのスポーツ選手による教室やイベントの開催	・総合運動公園における要望事項として配慮するとともに、教室やイベント等のソフト面についても配慮する。	施設整備・ソフト整備
	27. その他の自由意見	・総合運動公園の配置、広場に関する要望等 ・既存施設の整備に関する要望等 ・交流、マナー教育、指導者の育成等の活動要望等 ・各種スポーツに関する意識や感想等	・総合運動公園における要望事項として配慮する。 ・既存施設についての個別意見に配慮する。 ・スポーツに関する交流、マナー教育、指導者の育成等のソフト面に配慮する。	〃

3-2 方針の設定

総合運動公園は都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯及び運動の用に供することを目的とした公園で、緑のオープンスペースは温暖化の緩和、広場は震災時の避難地・延焼防止等の防災機能が求められている。

「第1次柳川市総合計画」において、まちの将来像を「生きがいと活力に満ち 自然と共生する住みよいまち」とする柳川市にとって、市民の健全な心身を育むスポーツ・レクリエーション空間は、市民の活動力を生みだし、市の活性力の源となる空間にならねばならない。

そのためには、子供から高齢者までのあらゆる人々が、安全で快適にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるように、緑に溢れる環境の中で利便性が良く、都市公園移動等円滑化整備ガイドライン及びユニバーサルデザインに配慮した施設の整備が必要である。

また、「水と人とまちが美しい 水郷柳川」を20年後の柳川の姿とする都市計画マスタープランにおいて提示されている「水郷を守り親しみ“自然と共生する”都市づくり」は、柳川市特有の掘割や城下町の景観、昔ながらの自然との共生を示すものであり、その主旨に鑑み総合運動公園においても施策を継承することが必要である。

以上より、総合運動公園構想の基本理念と整備のテーマを次のとおり設定する。

基本理念

あらゆる人々が、安全で快適にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる利便性の良い施設を整備し、掘割、城下町の景観、柳川の歴史や文化等の香りが漂う環境づくりを図り、昔ながらの自然と共生する総合運動公園の創出を目指す。

整備のテーマ

柳川らしさの香り漂う、水と緑溢れる総合運動公園

